

市民に開かれた議会の 実現のために

議会改革推進特別委員会からの報告

平成28年6月定例会において設置された特別委員会は、22回の委員会と議員研修など33回の会議等を行いました。

委員会は、平成24年に制定した議会基本条例を検証し、下表の取り組み事項を設けて協議しました。

主な改革として、平成29年12月定例会からは、火曜日の開会に会期日程を見直し、議案の調査研究のために常任委員会、論点整理の議員全員協議会を設けました。

市民との懇談会は、市民の発言の機会を増

やし、共に地域づくりに取り組み機運を高めるよう、グループワークを行っております。

また、ICTを活用した議員活動や会議の運営を検討しました。今後は市と議会が検討する組織を設けることとしていきます。

議会改革は、その時々の課題をとらえ、継続して取り組む必要があります。

議会基本条例に基づいた市民に開かれた議会を実現するため、さらなる取り組みを提案し、報告とします。

議会改革推進特別委員会

- 委員長 荒川 栄悦
- 副委員長 浅沼 幸雄
- 委員 小林 立栄
- 菊池 美也
- 萩野 幸弘
- 菊池 由紀夫
- 佐々木 大三郎
- 細川 幸男

取り組み事項	内容	結果
ICT※を活用した議会の充実	タブレット端末を導入した議会運営を目指すほか、議会をインターネット中継する。	市と議会で検討する組織を設ける。
定例会の会期の見直し	議案の調査研究をする機会を確保する。	平成29年12月定例会から実施。
市民との懇談の場の見直し	対面する一問一答の方式を改め、より多くの市民の意見を聞く機会とする。	平成29、30年にワークショップ方式を導入。
議会基本条例の見直し	政治倫理の規定を設け、改革の推進・検証、ICTの活用を明記する。	現状の運用で足りる。傍聴規則は見直した。
常任委員会の活動強化	調査研究の強化、公聴会制度の活用で条例や政策の提案に結び付ける。	平成29年12月定例会から常任委員会調査を実施。
議会図書室の充実	議員の調査研究に寄与し、活動を向上。	順次充実を図る。
議員定数、報酬の検討	議会や議員活動の魅力化のため、適正な数を判断し提案する。	市民の声も聴き、引き続き検討する。

※ICT：情報通信技術の意味。スマートフォンやタブレットを活用することで、正確な内容を迅速に把握し、会議等における議論の深化を図ろうとするもの。

議会改革推進特別委員会報告書は遠野市議会のホームページに掲載されています。

ご一読ください。

遠野市 議会改革推進特別委員会報告書

検索

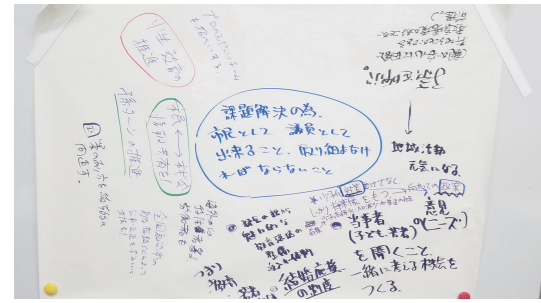
平成30年度

「市民と議会との懇談会」を開催

市民との懇談会は、4月23日から27日に、市内11地区ごとに開催されました。参加していただいた市民は延べ115名でした。



少子高齢化は、地域にとってマイナスな面が多いのですが、「少人数の子どもにキメ細かな教育ができる」「お年寄りの豊富な経験が活かせる」といったプラスにとらえる発言もありました。



しかし、全体として少子化による地域の活力の減退、後継者不足が心配され、高齢化による健康不安、交通の便の不足などが課題として挙げられました。



昨年からのワークショップ方式を取り入れた意図は、様々な地域課題を共に考え、対話の中から自分の出来ることに気付き、地域づくりに取り組む意欲を共有することでした。なお、より多くの市民の意見や要望を聞き取ることも大切で、次回開催からは進め方を再検討します。



の懇談会の開催を検討していくこととしました。

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

市民の声



遠野テレビで市議会を見るのが楽しくて、また、議会だよりを読むことで議会のことが詳しく知ることが出来ます。(青笹町、73歳、女性)

広報、議会だより楽しみに読んでいます。遠野テレビの毎日の出来事、議会の様子をかかさず見えています。(上郷町、86歳、男性)

いつも拝見させて頂いております。「わたしのひとこと」に沢山の人の思いが伝わってきます。新年度がスタートし、心新たに夢と希望を持ち頑張りたいと思います。雇用の確保、人材の育成等の課題…期待しております。(早瀬町、49歳、女性)

表紙の子どもがとても可愛くて暖かい気持ちになります。(小友町、58歳、女性)